

LMS導入の比較ガイド

本資料では、LMSとして広く利用されている Moodle を前提に、導入判断で特に差が出やすいポイントを整理し、以下の3つの視点から比較しています。

導入形態の違い

クラウド型かオンプレミス型かで、運用負荷やコスト構造が変わります。

製品の違い

Moodle LMSとMoodle Workplaceでは、主な利用目的や運用機能に違いがあります。

ベンダーの違い

導入支援やサポート体制は、ベンダーによって大きく変わります。



比較① 導入形態の違い

クラウド vs オンプレミス

比較項目	クラウド型 (EL社SaaS)	オンプレミス型 (自校・自社運用)
導入コスト	初期費用を抑えやすい	初期構築に伴う費用が発生
運用負荷 (サーバー・保守)	ベンダー側で対応	自社での対応が必要
セキュリティ対応 (OS・ミドルウェア含む)	ベンダー側で対応	自社での対応が必要
アップデート対応 (パッチ等)	ベンダー側で対応	個別に対応・改修が必要
バージョンアップ (メジャー更新)	継続的に実施	個別に対応が必要
停電対応	データセンター環境に依存	電源環境に依存
セキュリティ対策	MFA・監視等に対応可能	自社ポリシーに基づき対応
カスタマイズの自由度	標準機能・プラグイン中心	自由に改修可能
スケーラビリティ	柔軟に拡張しやすい	コストと時間がかかる
可用性・災害対策	ベンダー側で対応	自社での対策が必要
コスト予測	定額モデルで予測しやすい	変動費用が発生しやすい
ユーザーサポート	ベンダーが対応	体制に依存
導入スピード	比較的短期間で導入可能	構築期間が必要
データ管理	ベンダー環境で管理	自社で管理

※EL社 SaaS：当社が提供する Moodle クラウドサービス



本資料は株式会社イーラーニングが作成した資料です。
共有・引用の際は、出典として株式会社イーラーニングをご記載ください。
Copyright © e-learning Co., Ltd. All Rights Reserved.

比較② 製品の違い

Moodle LMS vs Moodle Workplace

比較項目	Moodle LMS	Moodle Workplace
主な利用目的	教育機関・学習用途	企業・組織研修用途
組織構造管理	基本的な管理に対応	組織構造・階層管理に対応
マルチテナント	対応なし	複数組織の一元管理に対応
学習プログラム管理	基本的なコース管理	プログラム・資格管理に対応
運用自動化	限定的	ルールベースの自動化に対応
レポート・分析	カスタムレポートに対応	組織・チーム単位での分析に対応
ユーザー・権限管理	ユーザー・権限管理に対応	役割・組織に応じた管理にも対応
外部連携	各種システム連携に対応	各種システム連携に対応
カスタマイズ性	柔軟にカスタマイズ可能	柔軟にカスタマイズ可能
導入形態	直接導入またはパートナー経由	プレミアムパートナー経由



本資料は株式会社イーラーニングが作成した資料です。
共有・引用の際は、出典として株式会社イーラーニングをご記載ください。
Copyright © e-learning Co., Ltd. All Rights Reserved.

比較③ ベンダーの違い

認定プレミアムパートナー vs その他ベンダー

比較項目	プレミアム認定パートナー	認定パートナー	非パートナー
Moodle HQ公式認定	最上位認定	認定あり	認定なし
Moodle HQとの連携	パートナープログラムを通じた連携	パートナープログラムを通じた連携	連携なし
提供範囲 (Moodle LMS)	対応	対応	対応
提供範囲 (Moodle Workplace)	対応	非対応	非対応
品質保証	Moodle HQによるハイレベルな審査あり	Moodle HQによる基本的な審査あり	第三者による保証なし
運用体制	ISO27001等の基準を踏まえた運用	ベンダーごとに異なる	ベンダーごとに異なる
サポート体制	専任体制・多層サポート	ベンダーごとに異なる	ベンダーごとに異なる
導入・運用支援	導入～運用まで対応	ベンダーごとに異なる	限定的または個別対応
カスタマイズ	カスタマイズや開発にも対応	対応可、品質はベンダーごとに異なる	対応可、品質はベンダーごとに異なる
アップデート対応	対応	対応	ベンダーごとに異なる



本資料は株式会社イーラーニングが作成した資料です。
共有・引用の際は、出典として株式会社イーラーニングをご記載ください。
Copyright © e-learning Co., Ltd. All Rights Reserved.